

## 平成19年度予算 施策別概要

### 222 農林水産資源の高付加価値化

( 主担当部：農水商工部 )

22201 地産地消・食育の推進 ( 農水商工部 )

22202 農林水産資源のブランド化の推進

( 農水商工部 )

#### < 施策の目的 >

( 対象 ) 県内外の消費者が

( 意図 ) 付加価値の高い県産農林水産物を認知しているとともに、その提供を受けている

#### < 施策の数値目標 >

施策目標 項目 (主指標)	「三重ブランド」として認定された農林水産品目の認定事業者数	目標値	2010	43事業者
			2007	40事業者
		現状値	39事業者	

ブランド化された農林水産品目の認定事業者数(三重ブランド認定委員会の審議を経て知事が認定したもの)

県の取組	県内産品を意識的に購入する人の割合	目標値	2010	50%
			2007	38%
		現状値	34%	
目標項目 (副指標)	「三重ブランド」として認定された農林水産品目数	目標値	2010	12品目
			2007	10品目
		現状値	9品目	
(副指標)	「三重ブランド」ホームページアクセス数	目標値	2010	20,000件
			2007	18,500件
		現状値	18,016件	

#### < 現状と課題 >

・農林水産物輸入の増大と国内産地間の競争の激化等に対応し、三重県の農林水産業の競争力の強化をはかるためには、県民や消費者の満足度を高め、その支持を得るための農林水産物の付加価値向上が求められています。また、消費者の多様なニーズに対応した加工食品の高付加価値化のためにも、農林水産業と食品産業との一層の連携が必要になってきています。一方で、地域の農林水産物やその加工品、農山漁村の文化・風土などに由来するサービスの消費・享受を通じ、地域のあり方や個人の生活様式を再考する「地産地消運動」や国民運動としての食育推進などへの取組が求められています。

#### < 平成19年度取組方向 >

地域の特色に応じた地産地消運動の実践と食育の取組を推進するとともに、県民のニーズに応じた県産食材等の魅力づくりを行い、これらの食材に県民がふれる機会を増加させる環境づくりに取り組めます。また、安全・安心な県産食材が持続的に生産され、県民に提供される環境づくりを行うとともに、食に関する安全・安心の取組を地域の多様な主体と連携・協働しながら

ら推進します。

地域資源を活用しブランド化に成功した品目と事業者を適正に評価し、モデルとして積極的に情報発信を行います。また、地域資源を活用し高付加価値化、ブランド化する上でのノウハウ・スキルを向上する人材育成のプログラムを実施するとともに、その素材となる生物系知的財産について調査・評価し、事業者の積極的な活用を促します。

<主な事業>

(一部新)(舞)地産地消・地域連携創造支援事業【基本事業名：22201 地産地消・食育の推進】

予算額： - 千円 72,500千円 \*

事業概要：県民に対する地産地消や食育情報の提供により、豊かで健全な食生活の実践を促進するとともに、地域で取り組む地産地消・食育推進運動の民間活動の活性化、定着化をはかるために、地域住民が連携した実践活動を支援します。

(一部新)(舞)みえの食・安心安全確立推進事業【基本事業名：22201 地産地消・食育の推進】

予算額： - 千円 27,616千円

事業概要：生産者が安全・安心な農産物等を生産し、消費者がその農産物等を容易に選択できるシステムづくりに取り組みます。

(一部新)(舞)「みえの食」魅力づくり応援事業【基本事業名：22201 地産地消・食育の推進】

予算額： - 千円 14,775千円

事業概要：県民のニーズに応じた県産食材の魅力づくりを推進するとともに、県民がさまざまな生活の場で持続的に県産食材にふれることができる機会を創出します。

(一部新)(重)地域資源ブランド化支援事業

【基本事業名：22202 農林水産資源のブランド化の推進】

予算額： - 千円 70,136千円

事業概要：事業者のブランド化（高付加価値化）に対する取組を「三重ブランド」として適正に評価するとともに、農林水産に関する地域資源の発掘、再評価と併せて活用する人材を育成し、ブランド化を推進します。